

結婚の生命表：1990, 95年

金子武治・白石紀子

1. はじめに

近年、出生率の低下は著しく、その要因の一つとして晩婚化、非婚化があげられているように、結婚あるいは配偶関係別人口割合は出生の動向に極めて大きな影響を与える。また、結婚後どのように結婚が持続していくかも出生力と深い関係がある。

結婚の生命表は、結婚後の夫妻が死亡および離婚によって減少、そして残存していく過程を表したものであり、その諸指標は出生力分析に極めて有効な指標である。わが国の結婚の生命表は、戦前の1935年、戦後は1955年以降5年毎に1985年まで作成されている。

本資料は、その後の1990年、95年の結婚生命表を作成したもので、結婚、あるいは出生分析の参考資料として供するものである。

2. 作成方法及びデータ

結婚の生命表は、結婚後の夫妻が夫あるいは妻の死亡および離婚によって減少、そして残存していく過程を表したものである。したがって、2種類の確率が必要となる。一つは結婚持続期間別の夫妻それぞれの死亡確率であり、もう一つは離婚確率である。詳細な作成方法は既存の資料を参照していただくことにして、ここでは、簡単に計算方法とデータについて説明し、計算結果についての概説を行うことにする。

(1) 結婚持続期間別死亡確率 Q_t

結婚の生命表における諸関数は、夫妻の年齢別についての関数ではなく、夫妻の結婚持続期間についての関数である。しかしながら、死亡確率については結婚持続期間別のものを直接得ることはできない。そこで、夫妻それぞれの年齢別死亡確率を結婚持続期間別死亡確率に置換する必要がある。その方法は、夫妻それぞれについて、当該年の年齢別結婚数に有配偶者の年齢別死亡確率 q_x を各々掛けて、1年間の年齢別死亡数を計算し、その死亡数の合計を元の結婚総数で割り、結婚持続期間1年未満の死亡確率 $Q(0)$ とするものである。

年齢別死亡確率を q_x 、年齢別婚姻数を M_x とすると、結婚持続期間1年未満の死亡確率 $Q(0)$ は、

$$Q(0) = \frac{\sum M_x \cdot q_x}{\sum M_x} \quad \text{となる.}$$

結婚後1～2年目の死亡確率 $Q(1)$ は、元の年齢別結婚数から1年未満の死亡数を年齢

別に差し引き、その結果を1年後1歳上の、すなわち、2年目当初における結婚残存数とする。それに再び年齢別死亡確率 q_x を掛けて、結婚持続期間1～2年目の年齢別死亡数を計算し、その死亡数の合計を2年目当初における結婚残存数で割る。以下同じことを繰り返し、各結婚持続期間別死亡確率 Q_t を計算する。夫妻とも、最初100,000と仮定した結婚コーホートが消滅するまで繰り返し計算する。

(2) 夫妻の結婚持続期間別離婚確率 D_t

結婚の生命表で用いられる夫妻の結婚持続期間別離婚確率を得るためには、まず、当該年の夫妻の結婚持続期間別離婚数を分子として、各々、その離婚を生じさせた実際の結婚を分母として計算する。すなわち、当該年の結婚持続期間1年未満の離婚は、当該年とその前年の結婚から生ずる。したがって、 t 年の結婚持続期間1年未満の離婚を $d^t(0)$ 、結婚数を M_t とすると、結婚持続期間1年未満の離婚確率 $D^t(0)$ は、

$$D^t(0) = \frac{d^t(0)}{1/2(M^{t-1} + M^t)} \quad \text{となる。}$$

例えば、1995年の結婚持続期間1年未満の離婚は、1995年と1年前の1994年の結婚コーホートから生ずる。同じく、1年以上2年未満の離婚は、1994年と1993年の結婚コーホートから生ずる。したがって、離婚確率 D^t 計算の分母の結婚数を、1年未満は(1994年結婚+1995年結婚) / 2、1年以上2年未満は(1993年結婚+1994年結婚) / 2として計算する。以下の期間も同じである。

このようにして求められた結婚持続期間別離婚確率は、当該年の結婚持続期間別離婚数を分子として、それらの母集団である当該年以前の各年次の結婚コーホートの大きさを分母として計算したものである。しかし、当然、これら最初の結婚コーホートは、結婚持続期間の経過にしたがって死亡および離婚によって減少しているはずである。前述の結婚持続期間別離婚確率 D^t は、最初の結婚コーホートを常に分母としているので、真の意味での結婚持続期間別離婚確率ではない。したがって、結婚持続期間にしたがって死亡および離婚によって縮小していく各々の結婚コーホートの大きさを分母として計算しなければならない。結婚の生命表では、死亡の影響は前述のとおり死亡確率として離婚確率とは別に計算される。そこで、前述の離婚確率 D^t に各々100,000を掛けて、100,000を出発点とする結婚コーホートの大きさとした場合の結婚持続期間別離婚数を計算し、100,000から順次、1年未満、1年、2年、…における離婚数を差し引き、その離婚によって減少した結婚コーホートの結婚持続期間別の大きさによって、それに対応する前述の離婚数を割ったものを結婚持続期間別離婚確率 D_t とする。結婚持続期間が把握できない期間は、補外推計によって求めている。

(3) 結婚持続期間別結婚残存数 l_t 及び平均結婚余命 e_t

結婚持続期間別結婚残存数 l_t は、夫の死亡確率を Q_{ht} 、妻の死亡確率を Q_{wt} 、離婚確率を D_t とすると、

$$l_{t+1} = l_t - l_t (Q_{ht} + Q_{wt} + D_t)$$

によって計算する。

また、平均結婚余命 \hat{e}_t は、

$$\hat{e}_t = \frac{\sum l_t}{l_t} - 0.5 \quad \text{によって計算する。}$$

以上の計算方法でわかるように、この結婚の生命表はあらゆる年齢で結婚した夫妻が含まれている。したがって、ほぼ、平均結婚年齢で結婚した夫妻に適合するものであろう。

(4) 作成に必要なデータ

結婚持続期間別死亡確率 Q_t 計算に必要なデータは、夫妻それぞれの年齢別結婚数と年齢別有配偶者の死亡確率である。夫妻の年齢別結婚数については、人口動態統計に表章されている。

夫妻それぞれの年齢別死亡確率は、有配偶者の死亡確率であるから、有配偶者の生命表が必要である。年齢別有配偶者の死亡数は、人口動態統計によって把握できる。また、年齢別、有配偶人口は、国勢調査によって把握できるので、有配偶者の死亡確率は計算できる。配偶関係別生命表は各国勢調査年次について作成されている²⁾。

夫妻の結婚持続期間別離婚確率 D_t は、当該年の夫妻の同居期間別離婚数を分子として、各々、その離婚を生じさせた実際の結婚を分母として計算する。したがって、年次別結婚数と離婚数が必要となる。ただ、人口動態統計に表章されてある婚姻数は届け出数であり、そのなかには当該年以前に結婚した数も含まれており、当該年に結婚生活に入った数ではない。離婚数についても同じである。したがって、各年次の実際の結婚数と離婚数を推定する必要がある。

人口動態統計には、結婚生活に入った年次別婚姻数が表章されているので、これを利用して実際の結婚数は推定することができる。例えば、1996年に届け出られた婚姻数のうち1995年に結婚生活に入った婚姻数は、1995年に結婚し、1年遅れて届け出られたことになり、同じく1994年に結婚生活に入った婚姻数は、1994年に結婚し、2年遅れて届け出られたことになる。したがって、各年次に届け出られた婚姻数を結婚生活に入った年次ごとに集計しなおせば、当該年以降に届け出られた婚姻数が把握できる。ただ、当然のことながら、最近になるほど、把握できる結婚生活に入った年次別婚姻数は少なくなる。1995年については、現在、1996年まで人口動態統計が刊行されているので、1年遅れて届け出られる婚姻数しか把握できないことになる。したがって、2年目以降に届け出られる結婚数を推定することになる。その他の年次も把握できない年次については、推定することになる。

夫妻の結婚持続期間別離婚確率を算出するためには、年次別結婚数の他に、夫妻の同居期間別離婚数が必要である。結婚の生命表によって当該年の離婚状況を表そうとすれば、結婚持続期間別離婚数は当該年に別居した離婚を対象とするべきである。人口動態統計では、結婚持続期間別離婚数が把握できるのでこれを使用することができる。ただし、この数値は当該年に別居して届け出られたもののみである。そこで、その後届け出られるであ

ろう離婚数を含めた離婚総数を推定する必要がある。離婚総数の推定方法は、人口動態統計に別居した年次別離婚数が表章されているので、これを利用して、結婚と同じ方法で推定する。そして、推定された離婚総数と当該年に別居して届け出られた離婚数との差を各期間別離婚数の割合で案分補正し、各年次の結婚持続期間別離婚数とする。

3. 結果の概要

1) 結婚持続期間別死亡確率

結婚持続期間別死亡確率は、夫妻とも年齢別死亡率の改善により毎年改善されている(表1及び図1)。最近の1985年以降についてみると、夫の場合、順調に改善されているが、妻の場合、1990～95年において、結婚持続期間25年までは、改善されていないか逆に上昇している期間もある。周知のとおり、死亡率は年齢が高くなるにつれ上昇する。したがって、結婚年齢が上昇すれば、死亡率が変化しなくても結婚持続期間別死亡確率は上昇する。近年は晩婚化しており、結婚持続期間別死亡確率が改善されていないのは、その影響と考えられる。

2) 結婚持続期間別離婚確率

結婚持続期間別離婚確率をみると、1990年、95年とも持続期間1年未満よりも1～2年の離婚確率が高く、その後、期間が長くなるにつれて、離婚確率は低下していく。1985年までは、持続期間1年未満の離婚確率が最も高かったことと異なった結果となっている。1970年以降について、各年次間の比較をしてみると(表2及び図2)、1970～75年、1975～80年にかけては、全ての期間で離婚確率は上昇しているが、1980～85年にかけては、1年未満の離婚確率が低下している。また1985～90年にかけては、持続期間8年以上で離婚確率は低下している。それが1990～95年にかけては、再び全ての期間で離婚確率は上昇している。1990～95年にかけての上昇の程度は、持続期間が3～4年が最も高く、その後持続期間が長くなるほど、離婚確率の上昇の割合が小さくなる。

実際に、人口動態統計で、結婚生活に入ってから同居をやめた時までの期間別離婚件数

表1 結婚持続期間別死亡確率の対前年差

持続期間	夫		妻	
	1990～95年	1985～90年	1990～95年	1985～90年
1年未満	-0.00002	-0.00003	0.00000	0.00000
5～6年	-0.00004	-0.00005	0.00000	-0.00003
10～11	-0.00006	-0.00013	0.00000	-0.00005
15～16	-0.00012	-0.00024	0.00000	-0.00009
20～21	-0.00024	-0.00041	0.00002	-0.00013
25～26	-0.00047	-0.00052	0.00002	-0.00019
30～31	-0.00092	-0.00021	-0.00006	-0.00026
35～36	-0.00124	-0.00000	-0.00020	-0.00039
40～41	-0.00209	-0.00071	-0.00053	-0.00085
45～46	-0.00485	-0.00225	-0.00143	-0.00154
50～51	-0.00940	-0.00442	-0.00304	-0.00288

図1 結婚持続期間別死亡率

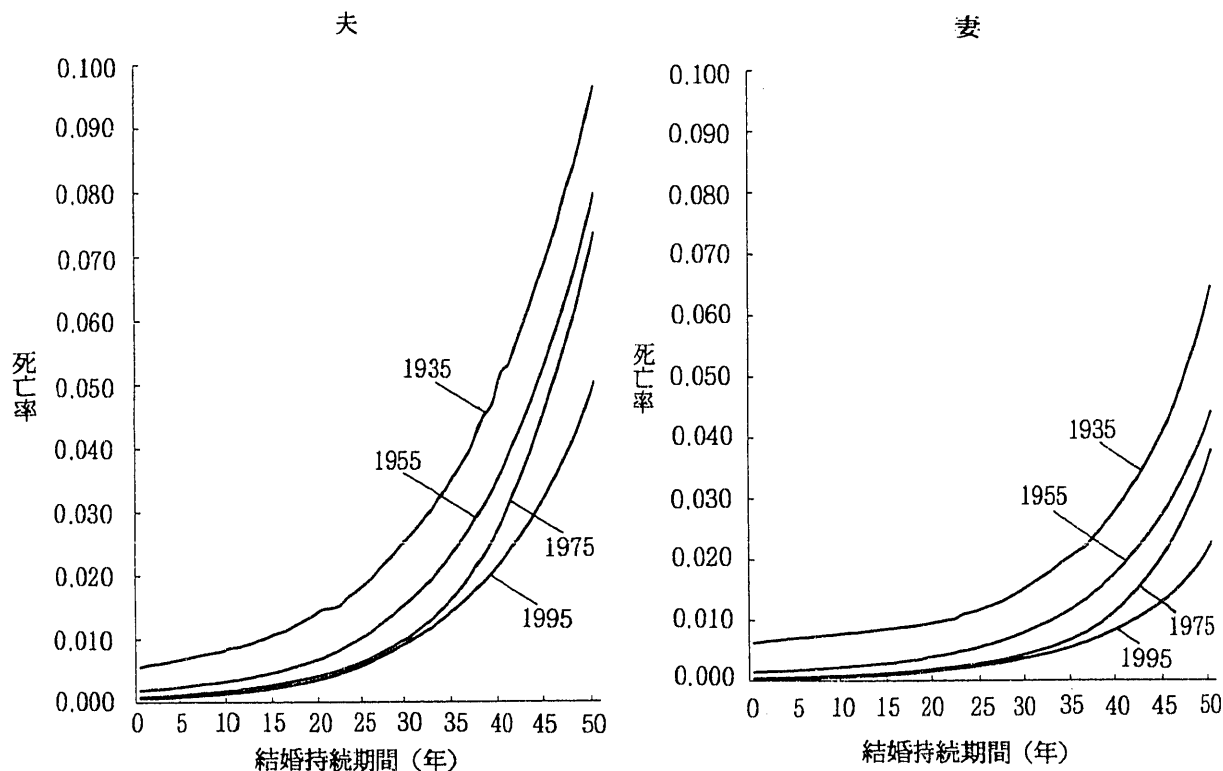
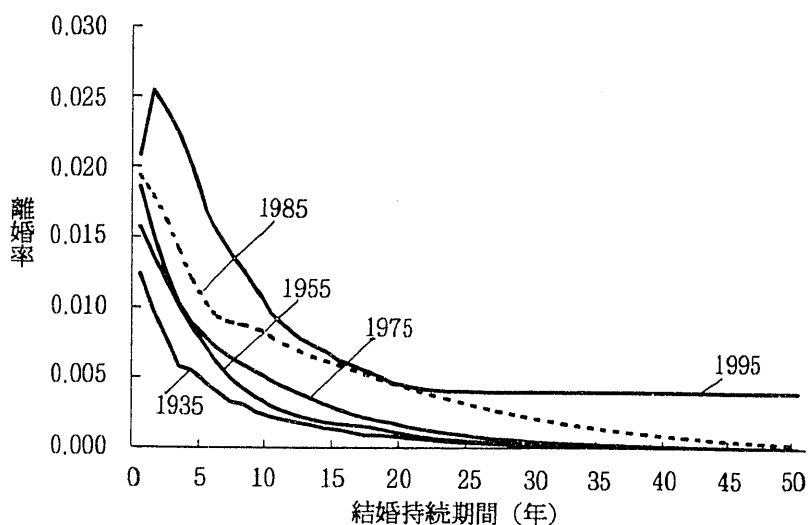


表2 結婚持続期間別離婚確率の対前年差

持続期間	1990~95年	1985~90年	1980~85年	1975~80年	1970~75年
1年未満	0.00021	0.00130	-0.00001	0.00071	0.00013
1~2年	0.00275	0.00480	0.00170	0.00098	0.00179
2~3	0.00425	0.00355	0.00264	0.00112	0.00172
3~4	0.00564	0.00264	0.00250	0.00128	0.00145
4~5	0.00525	0.00276	0.00163	0.00147	0.00118
5~6	0.00359	0.00295	0.00079	0.00165	0.00112
6~7	0.00427	0.00164	0.00062	0.00167	0.00112
7~8	0.00454	0.00044	0.00098	0.00152	0.00119
8~9	0.00418	-0.00030	0.00147	0.00138	0.00099
9~10	0.00326	-0.00057	0.00165	0.00144	0.00093
10~11	0.00307	-0.00139	0.00140	0.00173	0.00088
11~12	0.00246	-0.00116	0.00116	0.00193	0.00092
12~13	0.00187	-0.00094	0.00107	0.00199	0.00076
13~14	0.00161	-0.00083	0.00114	0.00190	0.00057
14~15	0.00163	-0.00093	0.00134	0.00176	0.00050
15~16	0.00148	-0.00114	0.00155	0.00164	0.00047
16~17	0.00142	-0.00112	0.00167	0.00152	0.00041
17~18	0.00129	-0.00102	0.00169	0.00143	0.00037
18~19	0.00100	-0.00079	0.00165	0.00134	0.00043
19~20	0.00059	-0.00056	0.00158	0.00124	0.00048

図2 結婚持続期間別離婚率



の割合をみると、1980年は、持続期間1年未満の離婚割合9.2%で、1～2年の8.1%よりも高いのであるが、1985年では7.6%と7.7%でほぼ同じとなり、1990年では、持続期間1～2年が9.2%で、1年未満の8.3%よりも高くなり、1995年では、持続期間1～2年が9.3%で、1年未満の7.7%より差が大きくなっている。

3) 結婚持続期間別結婚残存数 l_t

100,000組の同時結婚集団が、夫あるいは妻の死亡および離婚によって減少していき、結婚持続期間の経過において、どれだけ結婚を持続していくかの確率を表すのが残存数 l_t である。

これを結婚持続期間ごとにみると（表3）、戦前の1935年の死亡確率および離婚確率が将来続くと仮定した場合、結婚後5年経過して残存する確率は89.3%で、約1割の結婚は消滅することになる。戦後の1955年になると、92.4%と上昇し、1965年の93.8%まで上昇が続く、その後は、逆に低下し、1985年には91.8%となり、1955年よりも低くなる。さらに、1990年は90.4%、1995年は88.8%と低下する。1995年は戦前よりも低い水準である。

10年経過して、残存する確率は、1935年には81.1%と約2割の結婚が消滅することになるが、1955年には87.9%となり、これも1965年の90.3%まで上昇する。1965年には約1割しか消滅しないことになる。その後、低下に転じ、1985年は86.9%となり、1955年よりも低くなる。さらに、1990年は85.3%、1995年は82.1%と低下する。

20年経過して、残存する確率は、1935年には65.7%と約3分の2の結婚が消滅するが、1955年には79.8%と2割となり、1965年の83.7%まで上昇する。その後は、逆に低下し1985年は78.7%になり、これも1955年より低くなる。さらに、1990年は78.2%、1995年は74.2%と低下する。このように近年、残存数が減少しているのは離婚確率の上昇によるものである。

この残存数減少に及ぼす死亡と離婚の影響をみると（表4）、戦前の1935年では1年未

表3 結婚持続期間別結婚残存数及び平均結婚余命の推移

年次	1 (5)	1 (10)	1 (20)	1 (25)	1 (50)	平均結婚余命	l (t) = 50%の期間
1935	89.3%	81.1%	65.7%	57.3%	8.3%	27.85年	28~29
55	92.4	87.9	79.8	74.5	20.0	35.32	38~39
60	93.7	90.1	82.7	77.7	18.6	36.16	39~40
65	93.8	90.3	83.7	79.2	21.0	37.08	40~41
70	93.3	89.5	83.0	79.0	25.0	37.73	41~42
75	92.9	89.0	82.8	79.3	29.0	38.64	43~44
80	92.5	88.0	80.8	77.0	29.0	38.03	42~43
85	91.8	86.9	78.7	74.3	30.3	37.41	42~43
90	90.4	85.3	78.2	74.1	29.9	3.703	41~42
95	88.8	82.1	74.2	70.3	31.0	36.10	40~41

表4 結婚持続期間別結婚消滅の死亡と離婚の影響(%)

持続期間	1995年		1990年		1985年		1955年		1935年	
	離婚	死亡	離婚	死亡	離婚	死亡	離婚	死亡	離婚	死亡
1年未満	95.7	4.3	95.6	4.4	95.1	4.9	82.3	17.7	51.9	48.1
1~2年	96.3	3.7	95.8	4.2	94.5	5.5	79.5	20.5	50.0	50.0
2~3	95.8	4.2	94.9	5.1	93.5	6.5	76.2	23.8	43.5	56.5
3~4	95.2	4.8	93.6	6.4	92.1	7.9	72.3	27.7	37.1	62.9
4~5	94.3	5.7	92.2	7.8	90.1	9.9	67.8	32.2	29.9	70.1
5~6	92.8	7.2	90.8	9.2	87.8	12.2	62.7	37.3	28.2	71.8
6~7	91.5	8.5	88.3	11.7	85.7	14.3	57.1	42.9	24.2	75.8
7~8	90.0	10.0	95.4	14.6	83.8	16.2	51.3	48.7	21.2	78.8
8~9	88.1	11.9	92.8	17.2	82.2	17.8	45.4	54.6	17.8	82.2
9~10	85.7	14.3	90.3	19.7	80.1	19.9	39.7	60.3	16.5	83.5
10~11	82.4	17.6	75.5	24.5	77.5	22.5	34.5	65.5	13.3	86.7
11~12	79.4	20.6	72.8	27.2	74.4	25.6	30.0	70.0	11.6	88.4
12~13	75.9	24.1	70.0	30.0	71.2	28.8	26.1	73.9	10.4	89.6
13~14	72.7	27.3	66.8	33.2	67.7	32.3	22.5	77.5	9.1	90.9
14~15	69.5	30.5	62.7	37.3	64.3	35.7	19.9	80.1	7.9	92.1
15~16	65.2	34.8	58.0	42.0	60.9	39.1	18.0	82.0	6.7	93.3
16~17	61.6	38.4	54.0	46.0	57.2	42.8	16.3	83.7	6.1	93.9
17~18	57.8	42.2	50.3	49.7	53.3	46.7	14.6	85.4	5.0	95.0
18~19	53.6	46.4	47.2	52.8	49.3	50.7	12.6	87.4	3.9	96.1
19~20	48.6	51.4	44.3	55.7	45.2	54.8	10.2	89.8	3.8	96.3

満のみ離婚の影響の方が大きく、1年以上になると、死亡の影響の方が大きくなる。これが戦後になると、死亡率の改善によって死亡の影響が少なくなる。1955年では8年目までは離婚の影響の方が大きく、9年目からは死亡の影響の方が大きくなる。

その後、年々離婚による割合の方が影響のある期間が高くなっていく。最近についてみると、1985年、90年は18年目まで離婚による影響の方が高く、1995年は19年目まで離婚による影響の方が高くなる。これは死亡確率の改善とともに、離婚確率の上昇にもよる。1995年において、結婚持続期間5年目までに約1割の結婚は消滅するが、そのうち、96%は離婚によるものである。また結婚持続期間10年目までに約2割の結婚は消滅するが、そのうち、93%は離婚によるものであり、20年目までに約4分の1の結婚は消滅するが、そ

のうち、85%は離婚によるものである。

結婚持続期間20年以上の数値は使用データの関係で20年未満より信頼度は小さいが、結婚後25年を経過して、銀婚式を迎えられる夫妻は、戦前の1935年に57.3%と約半分ではなかったが、戦後は70%以上となる。最近では1975年の79.3%以降、年々低下しており、1995年は70.3%となる。さらに、結婚後50年を経過して、金婚式を迎えることができる夫妻は、1935年は8.3%と1割にすぎなかったが、戦後の1955年は2割となり、その後も増加を続け、1985年には3割となる。1990年は若干低下するが、1995年には31.0%と上昇する。これは高齢者の死亡率の改善によるものである。また、同時結婚集団がちょうど半分になる時期であるが、1935年は結婚後28~29年であったが、戦後の1955年には38~39年となり、1975年の43~44まで伸びるが、近年は縮小している。

4) 平均結婚余命 \bar{e}_t

最後に、結婚したばかりの夫妻の平均結婚余命をみると(表3)、戦前の1935年は27.85年であるが、戦後の1955年になると、35.32年と7.47年も伸びる。結婚後25年までは残存数は、1965年がピークであるが、平均結婚余命は1965年以降も伸び、1975年には38.64年となる。その後は、逆に短縮して、1995年には36.10年となる。

実際に、人口動態統計によって、離婚数の動向をみると、1960年の6万9千件以降増加し、1983年には17万9千となる。その後、減少に転じ、1988年には15万4千件となるが、再び増加に転じ、1996年には20万件を超え、1997年には22万3千件と、人口動態統計史上最高の件数となる。この離婚数上昇の影響により平均結婚余命は短縮したものである。

参考文献

- 金子武治・三田房美(1988)「結婚の生命表 昭和50, 55, 60年」『人口問題研究』187号, pp.57-66
厚生省人口問題研究所(石川晃)(1988)『配偶関係別生命表 昭和30年~60年』(人口問題研究所研究資料第255号)
河野稔(1960)「日本人夫婦に関する結婚の生命表 付配偶関係別生命表:1955」『人口問題研究』80号, pp.25-42
館稔・川上光雄(1952)「結婚の生命表 附配偶関係別生命表」,『日本統計学会会報』1952年度

結婚の生命表

(1) 1990年

期間	夫死亡率	妻死亡率	離婚率	結婚残存数	残存数合計	平均結婚余命
0	0.00067	0.00029	0.02061	100,000	3,752,562	37.03
1	0.00071	0.00030	0.02273	97,843	3,652,562	36.83
2	0.00075	0.00032	0.01972	95,521	3,554,720	36.71
3	0.00080	0.00034	0.01670	93,535	3,459,199	36.48
4	0.00087	0.00037	0.01472	91,866	3,365,664	36.14
5	0.00094	0.00041	0.01327	90,399	3,273,798	35.71
6	0.00102	0.00045	0.01102	89,078	3,183,399	35.24
7	0.00112	0.00049	0.00940	87,965	3,094,321	34.68
8	0.00122	0.00054	0.00845	86,997	3,006,356	34.06
9	0.00134	0.00059	0.00788	86,109	2,919,359	33.40
10	0.00148	0.00065	0.00655	85,264	2,833,250	32.73
11	0.00163	0.00071	0.00626	84,524	2,747,986	32.01
12	0.00180	0.00077	0.00601	83,798	2,663,462	31.28
13	0.00199	0.00085	0.00570	83,078	2,579,665	30.55
14	0.00219	0.00094	0.00527	82,369	2,496,586	29.81
15	0.00243	0.00103	0.00477	81,678	2,414,217	29.06
16	0.00268	0.00113	0.00447	81,006	2,332,540	28.29
17	0.00296	0.00124	0.00425	80,335	2,251,534	27.53
18	0.00327	0.00136	0.00414	79,656	2,171,199	26.76
19	0.00361	0.00149	0.00405	78,957	2,091,542	25.99
20	0.00398	0.00163	0.00398	78,235	2,012,585	25.22
21	0.00439	0.00179	0.00392	77,484	1,934,351	24.46
22	0.00484	0.00195	0.00388	76,702	1,856,866	23.71
23	0.00533	0.00214	0.00385	75,883	1,780,165	22.96
24	0.00588	0.00233	0.00382	75,024	1,704,281	22.22
25	0.00648	0.00254	0.00381	74,122	1,629,257	21.48
26	0.00714	0.00277	0.00379	73,171	1,555,135	20.75
27	0.00786	0.00301	0.00378	72,169	1,481,964	20.03
28	0.00864	0.00327	0.00377	71,112	1,409,795	19.33
29	0.00949	0.00356	0.00376	69,996	1,338,684	18.63
30	0.01039	0.00387	0.00375	68,820	1,268,687	17.93
31	0.01136	0.00421	0.00374	67,581	1,199,867	17.25
32	0.01239	0.00458	0.00373	66,276	1,132,286	16.58
33	0.01349	0.00499	0.00372	64,903	1,066,010	15.92
34	0.01467	0.00543	0.00371	63,462	1,001,107	15.27
35	0.01594	0.00592	0.00370	61,951	937,645	14.64
36	0.01732	0.00645	0.00369	60,367	875,694	14.01
37	0.01881	0.00704	0.00368	58,710	815,327	13.39
38	0.02044	0.00769	0.00367	56,976	756,617	12.78
39	0.02224	0.00843	0.00366	55,164	699,641	12.18
40	0.02422	0.00924	0.00365	53,271	644,477	11.60
41	0.02642	0.01016	0.00364	51,293	591,206	11.03
42	0.02885	0.01119	0.00363	49,230	539,912	10.47
43	0.03154	0.01235	0.00362	47,081	490,682	9.92
44	0.03451	0.01364	0.00361	44,844	443,602	9.39
45	0.03779	0.01510	0.00360	42,523	398,758	8.88
46	0.04140	0.01673	0.00359	40,121	356,235	8.38
47	0.04536	0.01858	0.00358	37,644	316,114	7.90
48	0.04970	0.02065	0.00357	35,102	278,470	7.43
49	0.05444	0.02299	0.00356	32,508	243,368	6.99
50	0.05961	0.02563	0.00355	29,875	210,860	6.56

結婚の生命表

(2) 1995年

期間	夫死亡率	妻死亡率	離婚率	結婚残存数	残存数合計	平均結婚余命
0	0.00066	0.00029	0.02082	100,000	3,660,091	36.10
1	0.00069	0.00030	0.02547	97,823	3,560,091	35.89
2	0.00073	0.00032	0.02397	95,235	3,462,268	35.86
3	0.00078	0.00035	0.02234	92,852	3,367,033	35.76
4	0.00083	0.00037	0.01997	90,674	3,274,181	35.61
5	0.00090	0.00041	0.01687	88,754	3,183,507	35.37
6	0.00098	0.00044	0.01530	87,141	3,094,753	35.01
7	0.00107	0.00049	0.01394	85,684	3,007,612	34.60
8	0.00117	0.00053	0.01263	84,356	2,921,928	34.14
9	0.00128	0.00058	0.01114	83,147	2,837,571	33.63
10	0.00142	0.00064	0.00963	82,065	2,754,424	33.06
11	0.00157	0.00070	0.00872	81,106	2,672,359	32.45
12	0.00173	0.00077	0.00788	80,215	2,591,252	31.80
13	0.00190	0.00085	0.00732	79,383	2,511,037	31.13
14	0.00209	0.00093	0.00690	78,584	2,431,654	30.44
15	0.00231	0.00103	0.00625	77,804	2,353,069	29.74
16	0.00254	0.00113	0.00589	77,059	2,275,265	29.03
17	0.00280	0.00124	0.00554	76,322	2,198,206	28.30
18	0.00308	0.00137	0.00514	75,590	2,121,884	27.57
19	0.00339	0.00150	0.00464	74,865	2,046,294	26.83
20	0.00374	0.00165	0.00443	74,151	1,971,428	26.09
21	0.00411	0.00180	0.00427	73,424	1,897,277	25.34
22	0.00453	0.00197	0.00413	72,676	1,823,854	24.60
23	0.00498	0.00215	0.00401	71,904	1,751,178	23.85
24	0.00547	0.00234	0.00392	71,102	1,679,274	23.12
25	0.00601	0.00255	0.00383	70,269	1,608,172	22.39
26	0.00659	0.00276	0.00377	69,398	1,537,903	21.66
27	0.00722	0.00299	0.00371	68,487	1,468,505	20.94
28	0.00791	0.00324	0.00367	67,533	1,400,018	20.23
29	0.00866	0.00350	0.00363	66,532	1,332,485	19.53
30	0.00948	0.00378	0.00360	65,482	1,265,952	18.83
31	0.01037	0.00409	0.00357	64,378	1,200,470	18.15
32	0.01134	0.00443	0.00356	63,217	1,136,092	17.47
33	0.01238	0.00480	0.00354	61,996	1,072,875	16.81
34	0.01351	0.00521	0.00353	60,711	1,010,880	16.15
35	0.01471	0.00566	0.00352	59,360	950,169	15.51
36	0.01598	0.00614	0.00351	57,942	890,809	14.87
37	0.01736	0.00667	0.00350	56,457	832,867	14.25
38	0.01885	0.00725	0.00349	54,903	776,410	13.64
39	0.02043	0.00789	0.00348	53,278	721,508	13.04
40	0.02213	0.00860	0.00347	51,584	668,229	12.45
41	0.02396	0.00938	0.00346	49,819	616,646	11.88
42	0.02592	0.01026	0.00345	47,986	566,826	11.31
43	0.02805	0.01123	0.00344	46,085	518,840	10.76
44	0.03038	0.01232	0.00343	44,116	472,756	10.22
45	0.03294	0.01354	0.00342	42,081	428,640	9.69
46	0.03576	0.01491	0.00341	39,981	386,559	9.17
47	0.03886	0.01644	0.00340	37,818	346,579	8.66
48	0.04228	0.01815	0.00339	35,598	308,760	8.17
49	0.04606	0.02008	0.00338	33,326	273,162	7.70
50	0.05021	0.02224	0.00337	31,010	239,835	7.23